

平成20年度 ニシン漁獲物調査速報(5)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、適宜お知らせします。

本年のニシン漁業の漁獲量は順調に伸び続けており、2月20日までの漁獲量が1,142トンと、1996年以降で最高であった2004年の1,232トンに迫っています(北海道漁業水産振興課)。しかし、留萌より北の海域での漁獲は1トン未満であり、漁獲のほとんどが積丹半島～石狩支庁管内での水揚げであるという状況は変わっていません。なお、前回に引き続き、小型魚の比率が高まっているとの情報を確認するため、漁獲の中心となっている石狩湾漁協(厚田)および小樽市漁協で水揚げされたニシンについて生物測定を行いましたので、結果をお知らせします。前回と同様に、標本は石狩湾漁協では2月25日の漁獲物から無選別で採集し(表1)、小樽市漁協では2月25日の漁獲物から銘柄別に標本を採集し(表2)、それぞれの漁獲量から全体の漁獲尾数に引き延ばしました。

ニシン漁獲物調査速報のバックナンバーは、北海道立水産試験場のホームページ「マリネット北海道(<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/>)」からご覧頂けます。

【結果】

1. 両漁協とも、尾叉長組成では前回見られた28cmのピークは見られなくなり、26cmモードとなっていました(図1, 2)。
2. 26cmのピークは3年魚に対応していました(図1, 2)。
3. 石狩湾漁協での年齢組成は、3年魚71%、4年魚26%、5年魚3%と3年魚が主体となっていました(図1)。
4. 小樽市漁協での年齢組成も同様で、3年魚86%、4年魚13%、5年魚1%でした(図2)。
5. 完熟率は両漁協ともにほぼ100%となっていました(表1, 2)。

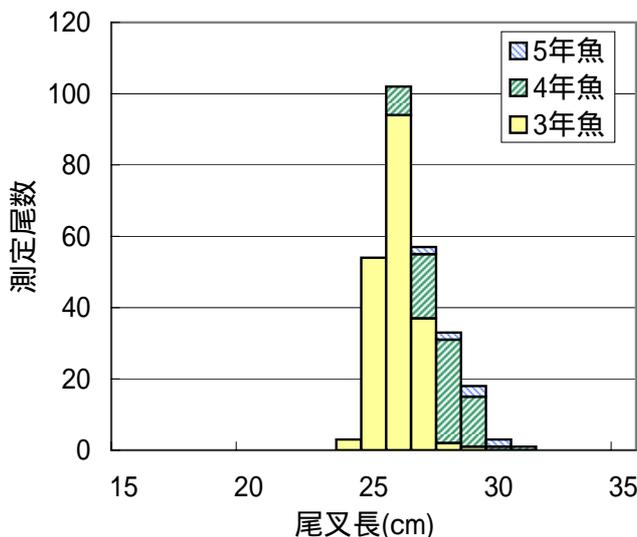


図1 2009年2月25日厚田
年齢別尾叉長組成

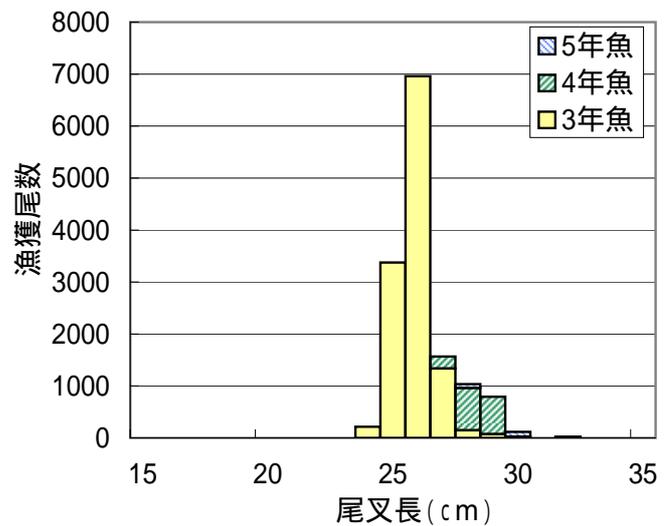


図2 2009年2月25日小樽市
年齢別尾叉長組成

表1 石狩湾漁協(厚田・2月25日)の雌雄別測定結果

項目	オス	メス	合計
測定尾数	139	132	271
平均尾叉長(cm)	27.0	26.9	28.7
平均体重(g)	227	234	230
平均生殖腺重量(g)	40.6	50.2	-
平均GSI(%)	22.6	29.1	-
完熟率(%)	-	99.2	-

表2 小樽市漁協(2月25日)の銘柄別測定結果

銘柄	特特大	特大	大	中	小	合計
漁獲重量(kg)	69	380	652	1,311	583	2,995
漁獲尾数	195	1,406	2,829	6,552	3,103	14,085
測定尾数	15	19	23	26	29	112
平均尾叉長(cm)	304.9	288.4	271.0	260.9	260.9	266.3
平均体重(g)	356	270	230	200	188	213
メスの比率(%)	73.3	47.4	39.1	42.3	37.9	-
メスの完熟率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-